

## 旭川市報道依頼

各報道機関 様

発表日	令和元年 12月18日
発信課	市民生活課(消費生活センター)
担当者	山本
連絡先	電 話 内線 80-2651
	FAX
	E-mail syo510@city.asahikawa.hokkaido.jp

分 類	その他
日 程	月                      日                      ~                      月                      日
発表項目 (行事名)	令和元年度 年末年始の市況と概況について
概 要  (趣旨・日時・ 場所・内容等を 記入すること。)	令和元年度年末年始の生鮮食料品等の市況と概況について、旭川三市場連絡協議会から資料を提供頂きましたので、別紙のとおりお知らせします。
添付資料	有                      ・令和元年度年末年始の市況と概況 ※ 有の場合、資料の内容を記入すること。なお、別途冊子等の配付を希望する場合は、その旨記入すること。
報道(取材)に 当たってのお願い	
備 考	

# 令和元年度 年末年始の市況と概況

令和元年12月11日

## 旭川三市場連絡協議会

丸果旭川青果卸売市場株式会社(青果資料作成)

TEL:48-3231

株式会社キョクイチ(水産資料作成)

TEL:48-3141

株式会社一印旭川魚卸売市場(事務局)

TEL:48-3161

令和元年度 [鮮魚品の概況]

鮮魚担当：榑キョクイチ 水産部門執行役員 今成英臣

天候等により、市況の変動しやすい時期になります。冷鉢マグロ・タコ・カニなど全体的には、昨年同様に入荷量が減少しており、市況価格は高値傾向で推移しています。

主品目	主力産地	前年対比		市況予想 (Kg単価)	概況
		入荷量	市況		
本マグロ	地中海・北大西洋・九州	増	並	k 8,000～6,000～4,000	生鮮・冷凍物共に入荷、市況は前年より多めで推移。生鮮は国内物が中心で、地中海は増。
鉢マグロ	太平洋・インド洋	減	並	k 3,500～2,500～2,000	冷凍物は、前年より横ばい。
黄肌マグロ	太平洋・インド洋	減	並	k 3,500～2,000	冷凍物は、前年より横ばい。
たこ	雄武・枝幸・宗谷	減	高い	足 k 2,000～1,700 頭 k 1,000～900	入荷量減、昨年より1割～2割高値で推移。
はまち	九州・四国	並	並	k 1,900～1,800	養殖物は入荷安定、単価は昨年より安値。
帆立 (生玉)	野付・標津	並	高い	大 k 5,500～小 4,000	野付、噴火湾中心。相場は高値で継続。
タラバガニ	ロシア	激減	高い	k 10,000～8,000	ロシア産の入荷は激減、高値で推移。
毛ガニ	北海道 (太平洋)	減	高い	k 10,000～8,000	ロシア産の入荷はほぼ無し。近海は高値の見込み。(昨年より2～3割アップ)
うに	(輸入)ロシア・カナダ (地物)道東	激減	高い	一折 (100g) 6,000～4,000	道東、ロシア、カナダが中心。水揚げにより価格変動有り。入荷は減少で高値で推移。
タラ	道東・ラウス・日本海	減	並	k 1,300～1,000 (フィーレ)	入荷量は減、市況は不安定。年末はフィーレ中心。冷凍ものについては生産減。
キンキ	ラウス・斜里・網走・根室 冷凍 ラウス・ロシア	減	高い	k 8,500～5,000 生 k 6,000～5,000 冷凍	釣物は高値で、刺網物も水揚げ量により価格変動激しい。冷凍物、近海水揚げが少なく、価格高値。
北寄貝	苫小牧・野付・白糠	減	高い	k 1,300～900	ここ数年水揚げ不安定、相場変動も多い。大型小、小型中心。
かき貝	厚岸・サロマ	並	並	k 6,000～2,500	入荷量は前年並みで、相場も前年並みで推移の見込み。
タイ	四国・九州	並	安い	養殖 k 1,200～1,000	入荷は安定し、養殖物が中心。昨年より2割安値。

令和元年度 [塩干・冷凍品の概況]

鮮魚担当：(株)キョクイチ 水産部門執行役員 今成英臣

全体的に入荷量は減少しており、新巻鮭・紅鮭・イクラ・ホタテ・カニなど市況価格も高値で推移しています。

主品目	主力産地	前年対比		市況予想 (Kg単価)	概況
		入荷量	市況		
新巻鮭	雄武・根室・釧路	減	高い	k1,200~1,000~800	価格は高めに推移、型は小型中心。
塩紅鮭	ロシア	減	高い	k2,200~2,000~1,800	流網漁終了にともない価格高い。
塩数の子	カナダ・アラスカ・ロシア	減	高い	k8,000~6,000~2,700	多少安値で推移し、売価には大きく影響はない。中小サイズが中心。全体的に原料減、大型サイズ中心に高値。
いくら	北海道	減	下げ	k7,000~6,000	入荷減、昨年より下げ相場、相場不安定。
紅葉子	アメリカ・ロシア・北海道	並	並	k4,300~2,200~1,300	原料は高値傾向、消費の低迷、製品供給減。
冷ホタテ	ロシア	多	下げ	k4,000~2,500	子持ちが少ない。オスの小型も少ない。
冷南蛮海老	ロシア	少	上げ	k3,000~2,000~1,800	全サイズが少ない。(特に4LとLA 少ない)
冷帆立(玉冷)	オホーツク、野付、標津	少	高い	k6,000~2,500	入荷減、全サイズ。特に3S~6S品薄傾向。
冷タラガニ	ロシア・アラスカ	減	高い	k6,500~4,500	アラスカ、ロシア産共に入荷減、価格は高値で推移。
冷ズリガニ	ロシア・カナダ	減	高い	k3,500~3,000	カナダ入荷減、過去最低ペースで少なく影響を受け高値で推移。
船凍イカ	函館・小木	減	高い	k1,600~1,250	全体量は、高値傾向で推移している。
刺身サーモン	ノルウェー・チリ	減	並	k3,000~2,000~1,500	消費が悪く供給過剰の為、一部安値の商品があり。

令和元年度 [加工食品の概況]

担当:(株)キョクイチ 水産2部 千葉 貞彦

全体的に、昨年より入荷量が減少しています。特に、いか・鮭・さんまの水揚げ不漁により、加工向け原料、又、製品価格にも大きな影響が出ています。全体を通しては、前年と比べ高値での推移が続いています。

主品目	主力産地	前年対比		市況予想 (Kg単価)	概 況
		入荷量	市況		
味付け数の子	(原料)カダマ・ロシア・大西洋 (製品加工地)札幌・釧路・赤平	並	高い	K3,500~2,500	イースト卵の原料が無い状況の中、入荷量は前年と同様。
					製品価格としては、昨年と比べ1割程度上昇。
飯寿し	紋別・小樽	並	並	K,4500~2,500	入荷量・価格ともに昨年並み。全体的に荷動きも横ばいで推移。
道産ししゃも	鶴川・広尾・釧路・厚賀	減	並	K4,500~3,000	昨年と違い、大型中心の水揚げ。
					入荷量・価格については、昨年と同様で推移。
かまぼこ	新潟・小樽	並	並		昨年同様、秋からの暖気による影響で季節商材の荷動きに遅れが生じている状況。 入荷量については、前年と比べ約1割の減少。

令和元年度 [野菜の概況]

関東・東北産地を主体に7月以降、日照不足や台風等の影響で生育の遅れや品質低下が発生しました。10月以降は好天に恵まれ、徐々に回復傾向にあります。  
 本年は、昨年同様、平年並みの価格推移を見込んでおります。レンコン、里芋は 肥大不足で出荷量は少ない見通し。

野菜概況担当 丸果旭川青果卸売市場 執行役員 高橋 正典 (蔬菜部直通48-3234)

主品目	主力産地	前年対比		市況予想 (K g 単価)	概況
		入荷量	市況		
大 根	千葉県、神奈川県	並	並	150～120	台風等の影響で 品質低下による下等級品の発生が多い。
人 参	茨城県、千葉県	並	並	140～120	一部台風被害発生ありますが、その後順調に回復見られる。
ハクサイ	茨城県	並	並	120～100	台風の影響等があり、やや小ぶりも順調に回復見込まれる。
キャベツ	愛知県、北海道 (上川管内)	並	並	150～120	道内産、府県産共に順調な出荷予想。
ほうれん草	群馬県、茨城県	並	並	1300～1000	台風の影響等により、作付減少見られますが、回復傾向。
春 菊	福島県、群馬県	並	並	1500～1200	台風の影響等により、作付減少見られますが、回復傾向。
軟白ミツバ	北海道 (上川管内)	減	並	6000～5500	収穫期までの生育は順調ですが、労働力不足で作付減少。
長 葱	群馬県、千葉県、茨城県	減	高い	700～600	台風等の影響で 品質低下による下等級品の発生が多い。
土付里芋	千葉県、宮崎県	減	高い	600～500	宮崎県産は品質にバラつき多い。全体に小ぶり。
洗い里芋	愛媛県	減	高い	1800～1600	労働力不足から、製品の供給縮小傾向。
牛 蒡	北海道 (十勝管内)	増	安い	250～200	生育順調で豊作傾向。太物サイズが多い。
レンコン	茨城県主力 佐賀県	減	高い	800～650	7月の低温日照不足で、生育遅れによる収量減予想。
ゆり根	北海道 (上川・十勝管内)	並	並	1000～800	作付減少傾向。生育良好で順調な出回り予想。
トマト	熊本県	並	並	500～450	西南暖地主体に、生育良好。
きゅうり	千葉県、宮崎県	並	並	700～600	西南暖地主体に、生育良好。
茄 子	高知県	並	並	600～550	生育良好。 今後の天候に左右される。
ピーマン	宮崎県、鹿児島県	増	並	550～450	順調な出荷が見込まれる。

主品目	主力産地	前年対比		市況予想 (K g 単価)	概 況
		入荷量	市況		
レタス	兵庫県、香川県、静岡県	並	高い	400～350	天候に左右され易く、品質格差が見られる。
ブロッコリー	群馬県、徳島県	並	並	400～350	主力産地共に、順調な出荷見込み。
玉 葱	北海道 (北見・上川管内)	増	安い	75～65	作柄良好で、大玉傾向。
馬鈴薯	北海道 (上川・十勝管内)	増	安い	100～80	作柄良好で、順調な出荷予定。
生椎茸	北海道 (上川・空知・十勝)	並	並	1300～1000	順調な出荷が見込まれる。やや大物少ない。
えのき	北海道 (上川管内)	並	並	400～350	順調な出荷が見込まれる。

令和元年度 [果実の概況]

12月はみかん、りんご、いちご、干し柿が主力商品となります。みかんについては昨年は台風の影響から12月については品薄の状況となりましたが、本年については昨年以上の出荷量が見込まれますが、年末に向けては贈答需要も高まり、上位等級品については活発な荷動きが見込まれます。また、りんごについてはやや小玉傾向ながら食味良好で大玉主力に引き合いが強く、いちごについては台風の影響からクリスマス・年末に向けては出まわり量が少ない見通しから高値予想。干し柿については各産地作業の遅れが見えますが、年末に向けては出荷量も増えて来ると見込まれます。果実全体では入荷量増、価格は前年並みを見込んでいます。

果実概況担当 丸果旭川青果卸売市場 果実部 和田取締役 (果実部直通48-3232・3233)

主品目	主力産地	前年対比		市況予想 (K g 単価)	概況
		入荷量	市況		
みかん	愛媛・静岡・和歌山	増	並	400～300	昨年よりも出荷量多く価格もやや安めの予想。
りんご	青森	やや減	並	330～280	小玉傾向。食味良好。
いちご	栃木・福岡・佐賀・茨城	減	高	2200～1700	台風の影響からクリスマス・年末品薄傾向。
干し柿	長野・和歌山・山形	増	やや安	2000～1500	作業の遅れが見えるが年末に向け数量増加。
キウイ	和歌山、愛媛、山形	並	並	500～450	作柄良好、価格前年並みの見通し。
バナナ	フィリピン	並	並	300～150	入荷安定、価格前年並み。
パイナップル	フィリピン	並	並	240～200	クリスマスに向けて入荷量増量、価格前年並み。
グレープフルーツ	フロリダ・メキシコ	並	並	350～270	年末に向けて入荷量増加、価格前年並み。
オレンジ	オーストラリア	並	並	250～230	入荷安定、価格前年並み。

## 令和元年度 【花卉の概況】

本州産切花は台風等の影響から、生育がやや遅れ気味、品質が低下している品目も見られる。また、高齢化、人手不足から、需要期に大量に集中出荷することが難しくなっています。カーネーション、バラ、トルコ桔梗等を中心に輸入品を積極的に取り入れ、市況の安定化を図ります。

花卉概況担当 丸果旭川青果卸売市場 取締役花卉部長 引地紀夫（花卉部直通48-3237）

主品目	主力産地	前年対比		市況予想（1本単価）	概況
		入荷量	市況		
輪菊	愛知、静岡、鹿児島	減	高め	120～80	生育遅れ気味で品薄傾向。需要期に向け市況も上昇。
小菊	沖縄	微減	並	50～30	予対品中心の入荷見込み単価安定。
カーネーション	愛知、コロンビア	微減	並	100～70	国内産は長雨の影響で減少傾向。輸入品は前年並みで推移。
バラ	愛知、エクアドル	並	並	200～100	人気の赤系を中心に需要高まる。市況は昨年並み。
百合類	宮崎、韓国	並	並	400～200	入荷量は前年並み。市況も前年並みで推移。
トルコ桔梗	静岡、福岡、台湾	並	やや安い	250～120	国内産は天候不順から品質低下。台湾産が安定入荷の見込み。
若松	茨城	減	高め	170～60	入荷量は減少傾向。1～2割高を予想。
千両	茨城	減	高め	700～200	生産量減っており品薄感強い。市況1～2割高を予想。
シクラメン	旭川、伊達、札幌	減	並	1000～500	前年に引き続き生産量減少。消費低迷から弱含み。
ポインセチア	帯広、札幌	減	並	700～400	道内産地からの入荷。入荷減少傾向だが市況は昨年並み。
シンビジューム	静岡、秋田	減	並	3500～1500	志向の変化から引き合い弱い。市況やや安め。

旭川卸売市場協議会  
 丸果旭川青果卸売市場株式会社  
 旭一旭川地方卸売市場株式会社  
 株式会社 一印 旭川魚卸売市場

年末年始日程並びに令和2年年祝祭日等日程

記

元年			
12月4日(水)	休業	臨時休市	
11日(水)	"	臨時休市	
29日(日)	"	臨時開市	
31日(火)	"	大晦日	

2年 1月1日(水)	休業	元旦
2日(木)	"	正月
3日(金)	"	"
4日(土)	"	"
5日(日)	営業	初セリ
7日(火)	営業	青果臨時休市
8日(水)	"	臨時休市
13日(水)	"	成人の日
22日(水)	"	臨時休市
29日(水)	"	臨時休市
2月5日(水)	休業	臨時休市
11日(火)	"	建国記念日
19日(水)	"	臨時休市
24日(月)	"	振替休日
3月4日(水)	休業	臨時休市
11日(水)	"	臨時休市
20日(金)	"	春分の日
25日(水)	"	臨時休市
4月1日(水)	休業	臨時休市
8日(水)	"	臨時休市
15日(水)	"	臨時休市
22日(水)	"	臨時休市
29日(月)	"	昭和の日
5月3日(日)	営業	水産臨時開市
4日(月)	休業	みどりの日
5日(火)	休業	こどもの日
6日(水)	営業	青果臨時開市
13日(水)	休業	臨時休市
20日(水)	"	臨時休市
27日(水)	"	臨時休市

6月3日(水)	休業	臨時休市
10日(水)	"	臨時休市
17日(水)	"	臨時休市
24日(水)	"	臨時休市
7月1日(水)	休業	臨時休市
8日(水)	営業	水産臨時休市
15日(水)	休業	臨時休市
23日(木)	"	臨時休市
24日(金)	営業	臨時開市
29日(水)	休業	臨時休市
8月5日(水)	休業	臨時休市
10日(月)	休業	山の日
14日(金)	休業	お盆
15日(土)	"	お盆
19日(水)	"	臨時休市
26日(水)	"	臨時休市
9月2日(水)	休業	臨時休市
9日(水)	"	臨時休市
16日(水)	"	臨時休市
21日(月)	"	秋分の日
22日(火)	営業	臨時開市
30日(水)	営業	青果臨時休市
10月7日(水)	休業	臨時休市
14日(水)	"	臨時休市
21日(水)	"	体育の日
28日(水)	"	臨時休市
11月3日(火)	休業	文化の日
11日(水)	"	臨時休市
18日(水)	"	臨時休市
23日(月)	"	勤労感謝の日
12月2日(水)	休業	臨時休市
9日(水)	"	臨時休市
16日(水)	"	臨時休市
23日(水)	"	臨時休市
27日(日)	営業	臨時開市
31日(木)	休業	大晦日

3年 1月 5日(火)	営業	初セリ
-------------	----	-----

1月 (20日)

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	青7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

8・22・29日臨時休市 7日青果臨時休市  
5日初セリ臨時開市

4月 (21日)

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30		

1・8・15・22日臨時休市

7月 (22日)

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	水8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

1・15・29日臨時休市 8日水産臨時休市  
24日水産臨時開市

10月 (23日)

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

7・14・21・28日臨時休市

令和2年営業日数  
水産 258日 (前年 259日)  
青果 257日 (前年 257日)

2月 (21日)

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29

5・19日臨時休市

5月 (21日)

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
水3	4	5	青6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

13・20・27日臨時休市  
3日水産臨時開市 6日青果臨時開市

8月 (20日)

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

5・14・15・19・26日臨時休市

11月 (21日)

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30					

11・18日臨時休市

3月 (22日)

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

4・11・25日臨時休市

6月 (22日)

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30				

3・10・17・24日臨時休市

9月 (22日)

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	青30			

2・9・16日臨時休市 30日青果臨時休市  
22日臨時開市

12月 (23日)

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

2・9・16・23・31日臨時休市  
27日臨時開市